回復期リハビリテーション病棟の実績について

○退棟患者数（　令和8年7月　～　9月）

・回復期リハビリテーション病棟（4階・5階病棟）から退棟した患者数とその疾患別内訳です。

疾患別内訳	退棟患者数
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態	46名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	60名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	6名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	3名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	8名
合　計	123名

○実績指数（　令和8年4月　～　令和8年9月）

・実績指数が大きい方が、リハビリ効果が高いといえます。なお厚生労働省が定めた回復期リハビリテーション病棟入院料1の基準は「実績指数42以上」です。

基準	当院の実績
42.0	53.1